

学 校 施 設

1 学校教育環境

少子高齢化など社会情勢が変化する中、学校を取り巻く教育環境は時代とともに変遷し、施設に求められる機能も多岐にわたる。学校施設においては、建物の耐久性の向上やバリアフリー化、省エネルギー化等による安全・安心な環境の提供はもとより、多様な形態による学習活動への対応、社会的要求に応じた設備を取り入れることにより教育環境の向上を図る必要がある。また、学校施設の多くが避難所として指定されていることから、地域の防災拠点としての機能強化も求められている。

このような中、本市では、昭和39年に新産業都市に指定されて以降、人口の急増に伴い、多くの学校を整備しているが、今後一斉に更新時期を迎えるにあたり、中・長期的な整備計画となる大分市教育施設整備保全計画を平成28年度に策定した。地域構造や住環境整備などの地域性により、小規模校や大規模校などの差異が生じているが、学校適正配置の観点を踏まえた上で、児童生徒数の推移、学校の規模、敷地面積、学校運営など多面的な視点で学校整備の検討を進めている。

また、余裕教室においては、少人数指導や特別活動等の学校教育活動としての活用に加え、児童育成クラブへの転用や地域住民等への利用を促し、施設の有効活用を推進していく。

・体育館改修

別保小学校	改修	886㎡
荏隈小学校	改修	886㎡

(2) 小中学校等屋内運動場空調設備整備事業

小中学校等の体育館に空調を整備することにより、児童生徒及び教職員に望ましい学習・生活環境及び就労環境のさらなる改善を図るほか、避難所機能の強化を目的としている。また、事業実施にあたっては、民間のノウハウ等を最大限に活用して短期間に一斉導入することで、対象施設間の公平性を確保するほか、維持管理を含めた効率的な運営でコスト削減を図る。



令和4年度の3学期から
金池小学校体育館にて空調設備を運用した

2 令和7年度 主要な事業

(1) 小中学校施設整備保全事業（長寿命化改修）

老朽化した学校建物の耐久性を高め、かつ、現代の社会的要求に応じた教育環境の向上を図ることを目的とし、校舎等の全面リニューアル工事の推進や児童生徒数に応じた施設保有量の最適化等を行うとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境整備を図る。

●令和7年度事業計画

・校舎等改修

城南中学校	南校舎	改修	2,604㎡
	北校舎	改修	2,288㎡
	プール	改修	300㎡

3 安全かつ機能的で豊かな 学校教育環境の創出

- ・小中学校緊急時コールシステム整備事業
- ・建物定期点検
校舎等の建物・設備の定期的な点検整備
- ・遊具・体育器具等の安全管理の徹底
- ・防犯カメラの設置
- ・トイレ洋式化の推進

4 地域に開かれた学校づくり

- ・学校施設のバリアフリー化
(エレベーター, スロープ, 手すり等の設置)
- ・学校施設の地域開放
(体育館等を社会教育団体等に貸出)
- ・地域連携施設の整備
(下郡小・明野東小・横瀬小・大在西小・
上野ヶ丘中・神崎中・碩田学園・金池小・
大在東小)



令和6年度より開校した大在東小学校内にある地域連携室